



未来へつなごう！多様な生きものをはぐくむ場 〔おおいたの重要な自然共生地域〕

項目	基礎情報
市町村名	中津市
地域名等	野依新池と中津宇佐のため池群(のよりしんいけとなかつうさのためいけぐん)
特徴	里地・里山にみられる貴重な生態系・生物群集
地域の概要・特徴など	野依新池は、中津市東部の自然豊かな場所に位置し、古くから農業用のため池として利用されてきており、現在も約30haの水田を潤す水源となっています。良好な水環境が残されており、ベッコウトンボなどの貴重な昆虫や、植物が生息・生育しています。
生物情報	【動物】コバネアオイトトンボ(EN/VU)、ベッコウトンボ(CR/CR)、オオキトンボ(EN/VU)他絶滅危惧種昆虫12種 【植物】ヒツジグサ(－/VU)、スブタ(VU/DD)、ナガボノワレモコウ(－/EN)、ミカワタヌキモ(VU/DD)、イヌタヌキモ(NT/NT)、キキョウ(VU/EN) 他
地域の保全・啓発活動団体名	NPO法人水辺に遊ぶ会
郵便番号	871-0006
事務局所在地	大分県中津市東浜1151-4
電話番号(代表)	0979-77-4396
メールアドレス	info@mizubenasobukai.org
ホームページアドレス	https://mizubenasobukai.org
構成員数	約200名
代表者氏名	理事長 足利 慶聖
事務局担当者名	山守 巧
いきものの生息・生育環境を守るための取り組み	池の堤体の草刈り、冬期のアシの根などの刈り取り作業ほか、ベッコウトンボが好む環境を維持する作業を実施しています。 観察会などの啓発活動や生物調査などの学術調査を実施しています。 環境改変をする外来生物であるアメリカザリガニの生息状況調査及び駆除しています。
県民にお願いしたいこと	希少生物に限らず周辺の動植物の採取は慎んでください。 観察に来る場合には周辺の農地や地域の方への配慮を心がけてください。
地域の課題	地域住民の高齢化に伴い維持管理作業の継続をどうするか、ベッコウトンボの保全計画の策定と実践が課題です。
その他情報	【生態系】 生物多様性の観点から重要度の高い湿地(野依新池および靡松池など豊前地域のため池群)※旧日本の重要湿地500

景観写真

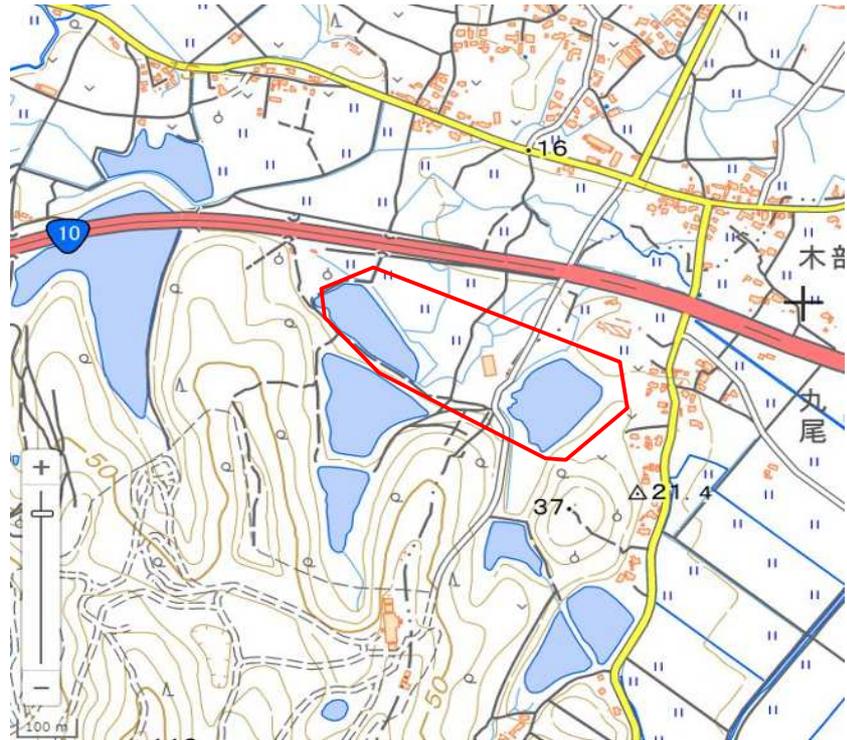


野依新池



榎野池

範囲図



地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) を加工して作成

範囲図は大まかに公表地域等の範囲を示しているため、範囲外であっても大切な自然が残されている場所や、範囲内となっても公表地域等の特徴を満たしていない場所が含まれている場合があります。